

令和6年度 学校関係者評価報告書
大阪市立豊新小学校 学校協議会

1. 総括についての評価

令和6年度も、児童は互いに学び合い、支え合う喜びを実感しながら、学ぶ楽しさを深めていった。日々の授業や学校行事を通じて、主体的に考え、意欲的に取り組む姿勢が育まれた。教職員もまた、積極的に研修や自己研鑽に励み、指導力の向上に努めたことで、より質の高い教育活動を展開することができた。

本年度も、行事や課外活動を制限することなく実施でき、児童の多様な学びの機会を確保することができた。全国学力調査および大阪市学力経年調査では、一部の学年・教科において大阪市平均や全国平均を上回る成果が見られたものの、依然として児童の学力向上が課題として残る。しかしながら、継続的な取り組みにより、学力の向上が一過性のものではないことも確認した。

全国体力運動能力調査においては、今年度も男女ともに全国平均と同等またはそれ以上の結果を示し、学校教育と地域スポーツの連携が子どもたちの健やかな成長に寄与していることを実感した。

一方で、年度当初に掲げた目標の中には達成に至らなかつたものもあるが、高い目標を設定していたことを考慮すると、その成果は一定の評価に値すると考える。学力面においては、さらなる学習支援の充実が求められるが、児童が心豊かに成長している点を踏まえ、総じて本年度の取り組みは妥当なものであったと自己評価する。

2. 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進

全市共通目標（小・中学校）

- ① 令和6年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由であってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を83%以上にする。**R5 84.3%**

(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

- ② 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

R5 0.11

(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

- ③ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

R5 11.1%

(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

学校の年度目標

- ④ 令和6年度の校内調査の「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を91%以上を維持する。**R5 95%**

(基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現)

- ⑤ 令和6年度の校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を令和5年度より2%増加させる。

R4 53%

(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

- ①R6 : 90.9% ○
- ②1名登校できるようになった。R6 : 0.017% ○
- ③改善の割合は、10人中2名。R6 : 20% ○
- ⑤ R6 : 97% ○
- ⑥ R6 : 51% ▲

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

全市共通目標（小・中学校）

- ①小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を38%以上にする。**R5 35.3%**
(施策4 誰一人取り残さない学力の向上)

- ②小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

(施策4 誰一人取り残さない学力の向上)

R5 国語1.01 算数0.93

- ③小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。**R5 87%**
(施策4 誰一人取り残さない学力の向上)

- ④小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。**R5 94%**
(施策4 誰一人取り残さない学力の向上)

- ⑤小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上にする。

(施策5 健やかな体の育成) **R5 69%**

学校の年度目標

- ⑥令和6年度の校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、最も肯定的に答える児童の割合を61%以上にする。**R5 64%**
(施策4 誰一人取り残さない学力の向上)

- ①R5 : 36.6% 前年度より向上したが、目標値には届かなかった。▲
- ② R6 国語0.99 算数0.95 前年度より算数は向上したが、国語は下回った。▲
- ③R6 : 80.3% ▲
- ④R6 : 88% ▲
- ⑤R6 : 57% ▲
- ⑥R6 : 56% ▲

年度目標：学びを支える教育環境の充実

全市共通目標（小・中学校）

- ①令和6年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について「毎日」と答える児童の割合を94%以上にする。R5 94%
(基本的な方向5 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進)
- ②ゆとりの日を週1回設定する。学校閉庁日は、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業以外の休業期間においては1日以上設定する。

R5 夏季3日 冬季3日

学校の年度目標

- ③令和6年度の校内調査における「読書は好きですか」の項目において、肯定的に答える児童の割合を83%以上にする。R5 81% (基本的な方向8 生涯学習の支援)
- ④令和6年度の校内調査における「命や人権の尊さについて考えたことがありますか」の項目において肯定的に答える児童の割合を91%以上にする。R5 93%
(基本的な方向6 人材の確保・育成としなやかな組織づくり)
- ⑤令和6年度の校内調査において「学校は保護者や地域と連携し、協力し合えている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を令和5年度より1ポイント増加させる。

R5 93%

(基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進)

- ①R6 : 96% ○
②R6 : 夏季4日 冬季3日 ○
③R6 : 83% ▲
④R6 : 97% ○
⑤R6 : 94% ○

4. 今後の学校園の運営についての意見

3年生から6年生までの習熟度別学習を継続し、学力の底上げを図る。特に学力の低い児童への支援を強化し、放課後学習などを通じて「学び切る力」を育成することで、学習の定着を促進する。体力・運動能力調査において全国平均以上の成果を上げており、地域スポーツクラブの影響も大きい。今後も学校・地域・PTAが連携し、児童の運動への意欲を高める取り組みを推進する。

目標数値の設定において、「最も高い」と答えた児童のみを基準とするのではなく、「高い」と答えた児童も含め、肯定的な意見全体を踏まえた運営を行う。児童の実態を正しく把握し、一人ひとりが前向きに成長できる環境を整えていく。